MIZUHO

MES-CG18-480-10

＊＊２０２４年 ４ 月（第５版）
＊２０２３年 ９ 月（第４版）

製造販売届出番号：13B1X00306N10274

器０１　手術台及び治療台
一般医療機器　　汎用電動式手術台　　(36867020)

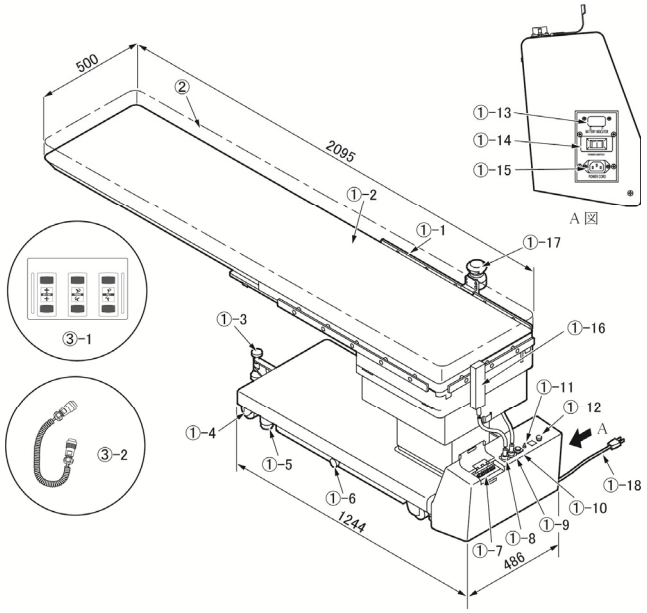
特定保守管理医療機器

手術台　ＶＡＣＢ－３００６Ｂ

＊ 【警告】
＜使用方法＞
１．患者の任意の体位を確保するためにアクセサリーで支持するときは、常に患者の状態を監視すること。[長時間の体位保持は神経麻痺や褥瘡の原因になります。]
２．他社製アクセサリー等を取り付けて使用する時は、ご購入店又は弊社に相談すること。[手術台のサイドレール寸法が異なると使用できません。]

＊ 【禁忌・禁止】
＜使用方法＞
１．手術台の移動及び設置
1-1 凹凸のある床面に設置しないこと。[転倒又はけがをするおそれがあります。]
1-2 位置を高くするために、手術台の下に当て物をいれないこと。[転倒又はけがをするおそれがあります。]
1-3 患者を乗せた状態でブレーキを解除しないこと。[患者が転落するおそれがあります。]
２．電源コードの取扱い
電源コードの上に重量物を置いたり、キャスター付の機器で乗り越えたりしないこと。[電源コードが破損して火災又は感電事故を起こすおそれがあります。]

＊＊【形状・構造及び原理等】
＊
１．外観図
①手術台　②付属品　③オプション



①-1	サイドレール	①-11	等電位化端子
①-2	テーブルトップ	①-12	緊急停止スイッチ
①-3	補助ブレーキ	①-13	バッテリーインジケータ
①-4	キャスター	①-14	電源スイッチ
①-5	ブレーキ	①-15	電源コネクタ
①-6	非常用ブレーキ解除ハンドル	①-16	操作ボックス
①-7	予備スイッチ	①-17	ハンドコンソール
①-8	操作ボックスコネクタ	①-18	電源コード
①-9	ハンドコンソールコネクタ	②	マットレス
①-10	フットスイッチコネクタ	③-1	フットスイッチ
		③-2	操作ＢＯＸ用中継ケーブル（VACB-3003）

注１：番号は１．外観図の番号に対応
注２：ベースとは①-6～15 を含む基台

商品コード	商品名	構成
08-041-20	操作ＢＯＸ用中継ケーブル（VACB-3003）	③-2
18-045-01	電源コード１.(4.5m)	①-18
18-443-20	３５０１、６３００、５６０２シリーズ用フットスイッチ（国内・アジア仕様）	③-1
18-480-10	ＶＡＣＢ－３００６Ｂ	①、②

２．質量
本体：385 kg

３．電気的定格
定格電源電圧　：AC100-240V
定格電源周波数　：50/60Hz
消費電力　：400VA
バッテリー電源電圧　：DC24V
バッテリー充電時間　：約 10 時間（注）
注：使用条件により変わります。

４．機器の分類（JIS T 0601-1:2023）
電撃に対する保護の形式による分類：クラスⅠ機器
電撃に対する保護の程度による装着部の分類：Ｂ形装着部
水の有害な浸入に対する保護の程度の分類：ＩＰＸ４
本機はＥＭＣ規格 JIS T 0601-1-2：2023 に適合

５．使用環境
周囲温度範囲：10℃～40℃
相対湿度範囲：30%～75%
気圧範囲　：700hPa～1060hPa

６．機能
電動
① 昇降範囲　最高位　：1060mm
　　最低位　：704mm
② 縦転角度　頭下がり　：20°
　　頭上がり　：20°
③ 横転角度　左下がり　：20°
　　右下がり　：20°

取扱説明書を必ずご参照ください。

④ ブレーキ　　固定／解除
⑤ 自動水平復帰　縦転／横転
⑥ その他の電動機能　スライドロック解除
⑦ 操作機器 操作ボックス／ハンドコンソール／予備スイッチ
／緊急停止スイッチ／フットスイッチ

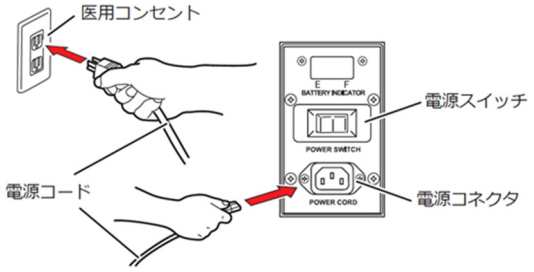
手動
① 最大スライド量　　縦方向：710 ㎜
横方向：200 ㎜
② その他の手動機能　非常用ブレーキ解除ハンドル
／補助ブレーキ

7．作動原理
本機は電動油圧手術台であり、電気的に制御するポンプモーター・バルブ及びシリンダー・オイルタンク等の油圧機器で構成されています。
操作ボックスを操作するとポンプモーターが作動し、オイルタンクの作動油がバルブを介してシリンダーへ送られます。シリンダーへ送られた作動油の圧力によりシリンダーが伸縮し、シリンダーと連動している手術台の機械部分が作動することで、手術台の機能が作動します。
シリンダーの作動が限界に達すると、シリンダーの動きは停止して手術台の作動は停止します。

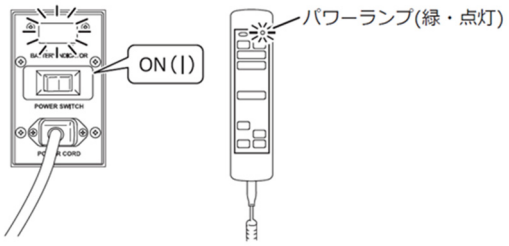
**【使用目的又は効果】
*
手術が必要な部位の大部分に適応するように改良された完全移動型手術台（汎用）をいいます。コンセント電源式・電池電源式の併用式のものです。

**【使用方法等】
*
詳細な使用方法は取扱説明書をご参照ください。

1．電源の入れ方（使用前）

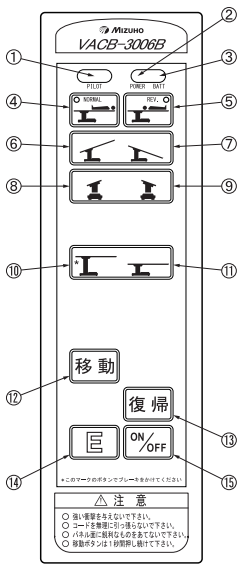


1-1 電源コードを電源コネクタと医用コンセントに差し込みます。



1-2 ベースの電源スイッチを ON（｜）にします。バッテリーインジケータ及び操作ボックスのパワーランプ（緑）が点灯して電源が入ります。（バッテリー使用時は操作ボックスのバッテリーランプも点灯します。）
注：消費電力軽減のため ON/OFF 機能が作動し、電源が OFF になっている場合は、電源を入れてください。

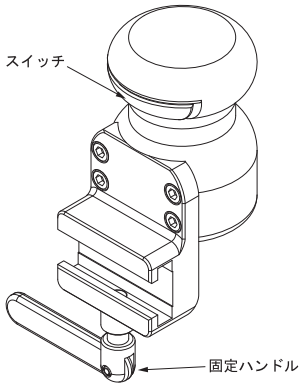
2．操作ボックスの使い方（使用中）



① パイロットランプ
② パワーランプ
③ バッテリーランプ
④ ＮＯＲＭＡＬ（正方向）
⑤ ＲＥＶ．（逆方向）
⑥ 縦転　：頭上がり
⑦ 縦転　：頭下がり
⑧ 横転　：左下がり
⑨ 横転　：右下がり
⑩ 昇降　：上昇
（手術台固定）
⑪ 昇降　：下降
⑫ ブレーキ解除
⑬ 水平復帰
⑭ Ｅスイッチ
⑮ ＯＮ／ＯＦＦスイッチ
（バッテリー電源操作）

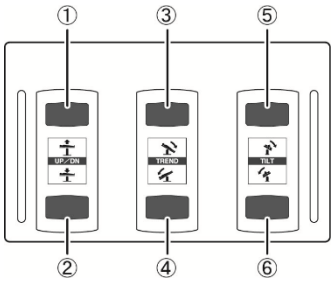
Ｅスイッチを押すと、パイロットランプが点灯します。ランプが点灯している間に機能スイッチを押すと、スイッチを押している間その機能が作動します。各機能は最大限に達すると作動が停止します。

3．ハンドコンソールの使い方（使用中）



ハンドコンソールは電源 ON（注）及び縦横スライドを操作します。
3-1 ハンドコンソールのスイッチを押します。
3-2 スイッチを押しながらハンドコンソールを動かすと、テーブルトップを縦又は横方向にスライドできます。スイッチを離すとテーブルトップはその位置で固定します。
注：バッテリー電源使用時のみ

4．フットスイッチの使い方（オプション）

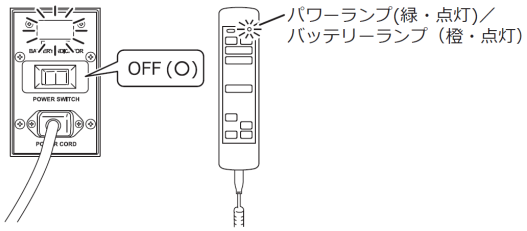


① 昇降：上昇　③ 縦転：頭上がり　⑤ 横転：右下がり
② 昇降：下降　④ 縦転：頭下がり　⑥ 横転：左下がり

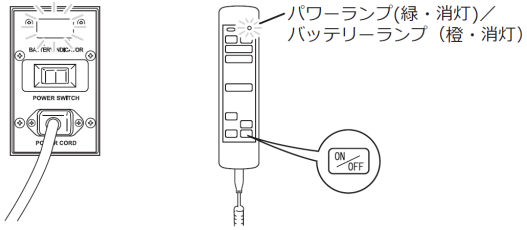
機能スイッチを押す（踏む）ことで、各機能が作動します。スイッチを押している（踏んでいる）間は機能が作動し、離すと停止します。各機能は最大限に達すると作動が停止します。

取扱説明書を必ずご参照ください。

５．電源の切り方（使用後）

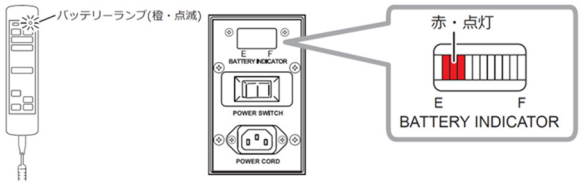


5-1 ベースの電源スイッチを OFF（○）にします。操作ボックスのバッテリーランプ（橙）が点灯して、バッテリー電源に切り替わります。



5-2 操作ボックスの ON/OFF スイッチを押します。パワーランプ（緑）、バッテリーランプ（橙）及びバッテリーインジケータが消灯して電源が切れます。

６．バッテリー充電のしかた



6-1 操作ボックスのバッテリーランプ（橙）が点滅したら充電が必要です。又はバッテリーインジケータの赤が点灯したら充電が必要です。

6-2 電源コードを電源コネクタと医用コンセントに差し込みます。

6-3 電源スイッチを入れると充電が始まります。充電中はバッテリーインジケータの橙が順に点灯します。

6-4 バッテリーインジケータの橙と緑が順に点灯すると充電は完了です。

＊＊【使用上の注意】
＊
詳細な注意事項は取扱説明書をご参照ください。

重要な基本的注意

1. 操作ボックスによる操作はＮＯＲＭＡＬ(正方向)又はＲＥＶ.(逆方向)の位置を確認してから実施してください。横転の機能が逆方向に作動します。
2. スライド機能の操作はテーブルトップが水平位置であることを確認してください。水平以外の位置では作動しません。
3. 締結部の固定は必ず確認してください。ゆるんだ状態では機器が動いたり、外れたりして患者に障害がおきるおそれがあります。
4. 他の機器やアクセサリーを併用するときは、当該機器の注意事項等情報及び取扱説明書を読んで影響を確認してください。誤った使用方法は患者・操作者及び手術台･併用する機器やアクセサリーに悪影響を及ぼします。
5. 衛生のため、患者が触れる部分には必ず滅菌済ドレープを使用してください。
6. 併用する他の医用電気機器から電磁的影響による誤作動が発生することがあります。
7. 手術台の操作中に、テーブルトップの裏側に手を入れないでください。手や指を挟んでけがをすることがあります。
8. テーブルトップが水平位置にあるとき、テーブルトップを押すと、スライド方向に動くことがあります。
9. 非常用ブレーキ解除ハンドルが UNLOCK の状態で手術台を作動させないでください。転倒・けがのおそれがあります。
10. 非常用ブレーキ解除ハンドルを UNLOCK から LOCK に戻したら、ブレーキ解除操作をしてください。ブレーキ解除操作をせずに手術台を作動させると、ブレーキが解除された状態で手術台が作動するため、転倒・けがのおそれがあります。
11. 使用条件によりバッテリーの寿命は大きく変わります。短期間使用で頻繁に充放電が繰り返されるとバッテリーの劣化が早まる可能性がありますので、週１回充電（週末の充電）を行ってください。

    充電完了まで最長 10 時間程度かかります。
12. 手術台使用後に手術台下部のバッテリーインジケータが㊝のみ点灯している場合は、直ちに充電を行ってください。

    充電不足になると AC 電源でのご使用は頂けますが、バッテリーでのご使用はできなくなります。

＊【保管方法及び有効期間等】

１．保管方法

周囲温度範囲：－10℃～50℃
相対湿度範囲：10%～85%（結露なし）
気圧範囲　　：700hPa～1060hPa

２．耐用期間

指定した保守点検及び適切な保管をした場合：１０年（注）
［自己認証（弊社データ）による］

注：耐用期間内であっても、使用状況又は使用頻度により、突発的な故障、部品の著しい消耗・劣化・破損等を生じた場合は該当部品の交換が必要です。
但し、一般市販品の部品については、製造元の事情（製造期間終了・製造中止等）により、耐用期間内であっても部品供給による交換ができなくなる場合があります。

＊＊【保守・点検に係る事項】
＊
＜使用者による保守点検事項＞

使用者は手術台の使用前・使用後に必ず清掃・消毒を実施してください。詳細な点検事項は、取扱説明書をご参照ください。

１．使用前の点検事項

1-1 マットレス
マットレスに破損がないか。

1-2 テーブルトップ
テーブルトップに破損がないか。

1-3 油漏れ
床又はベース表面に作動油が付着していないか。

1-4 電源コード及びプラグ
導線の露出又はプラグの破損がないか。

1-5 バッテリー
バッテリーが充電されているか。

1-6 電源スイッチ
電源スイッチを ON にして、操作ボックスのパワーランプが点灯するか。

1-7 操作ボックス･ハンドコンソール及び予備スイッチ
操作ボックス等のスイッチを押して、すべての機能が正常に作動するか。

1-8 テーブルトップのガタ
テーブルトップ両側を持って上下左右に揺すったときにガタがないか。

２．使用後の点検事項

2-1 マットレス
マットレスに破損又は汚れがないか。

2-2 テーブルトップ
テーブルトップに破損又は汚れがないか。

2-3 油漏れ
床又はベース表面に作動油が付着していないか。

取扱説明書を必ずご参照ください。

３．清掃・消毒の手順

3-1 電源を切り、電源コードを医用コンセントから外してください。

3-2 使用する消毒液の表示又は説明書の内容を確認してください。

3-3 血液・薬剤・汚物等の汚れを水で拭き取り、消毒液を浸したガーゼ等で清拭してください。

４．故障時のお願い

本機が故障したと思われるときは下記の処置を行い、ご購入店又は弊社に連絡してください。

4-1 電源を切り、電源コードを医用コンセントから外してください。

4-2 本機に「故障」・「使用禁止」・「修理必要」等の適切な表示をしてください。

＜業者による保守点検事項＞

本機を安全に使用するために、弊社及び弊社が認めた業者による年１回の定期点検を実施してください。それ以外の業者による保守・点検は、有害事象の発生、性能・機能の低下を招くおそれがあります。定期点検を希望される場合はご購入店又は弊社にお問い合わせください。

＜定期交換部品＞

部品名	交換時期(注)
バッテリー	２年
操作ボックス	４～６年
キャスター	５～７年
ブレーキゴム	３～５年
電源コード	５～７年
ハンドコンソール	４～６年

注：上記は目安の期間です。使用条件により交換時期が変わります。

【製造販売業者及び製造業者の氏名又は名称等】

製造販売業者：ミズホ株式会社
TEL 03(3815)3097

製造業者：ミズホ株式会社　千葉工場

保証期間に係る事項

本機は納品/設置してから 1 年間を保証期間として無償修理いたします。但し第三者が修理した場合、天災による破損、不適切な使用、あるいは故意による破損は除きます。その他保証条件は弊社規定に依ります。

取扱説明書を必ずご参照ください。